第105回人間関係講座（グループ）秋

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	中尾　陽子（南山大学経営学部准教授） 森泉　哲　（南山大学国際教養学部教授）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。１つの講座は２日間のプログラムで構成しています。 私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の１つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテント）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテント」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 【プログラムの内容（予定）】 小講義「人間関係を体験から学ぶ」「体験学習のサイクル」「コンテントとプロセス」 「グループプロセスとは？」「グループでの意思決定」など グループでの問題解決実習とふりかえり グループでの創造的実習とふりかえり グループでのコンセンサス実習とふりかえり
日程	2017年11月17日（土） 10：00～18：00 11月18日（日）　9：00～17：00　土日集中
定員	各36名
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　伊東　留美　記 第107回人間関係講座（コミュニケーション）を終えて　－改めてプロセスから学ぶ－ 先日、11月4・5日（土・日）に第107回人間関係講座（コミュニケーション）　が行われました。今回は24名の参加者が全国（東は関東地域、西は山陰地域）から大学祭開催中の南山大学に集まってくださいました。 この講座では、過去あるいは今年度に人間関係講座（グループ）を受講された方が半数近く、またコミュニケーションも再受講という方も数名おられました。講座の中で中尾先生が、似たような内容の実習であっても、共に過ごすメンバーが変わると違った体験が生まれるので、そこで起こるプロセスの違いを味わっていって欲しい、というような言葉がけをされました。 改めて、体験学習は、「今、ここ」での体験が学びにつながり、同じ「コンテント」であっても、「プロセス」が違えば気づきも違うということを再確認したことがありました。「はなす・きく・みる」の実習の時、ある受講生の方が普段こんな風に人の話をきいているのかと振り返ったと言われました。この講座の中で、その方は普段なかなかできない「今、ここに」集中して、じっくりと人と関わる体験ができ、普段の「はなす・きく・みる」とは違うプロセスが起きたのでしょう。 コミュニケーションの講座を2回受講された方がいると前述しましたが、その方々も、この講座で学ぶコンテントはご存じであるのに再度受けられるのは、おそらくコンテントよりもその時々に起きるプロセスに集中する体験を求めておられるのでしょう。同志が集まり「学びの共同体」ができると、じっくりと今の自分を開示し、プロセスの中で豊かな学びの体験が生まれてくると思います。 私も、この講座の「今、ここに」で学ぶ人々のプロセスから、“simple communication（わかりやすい対話）”から始めようという新たな目標が見つかりました。ありがとうございます！また、お会いできることを楽しみにしています。